特別賞

必要な設備を整える事

御成門小学校 湧上 響

地球温暖化の最大の原因とされる、二酸化炭素の排出を抑えるために、私が一番興味があるものは、電気自動車の普及です。電気自動車は、二酸化炭素の排出がゼロなのです。しかし、現在も電気自動車の普及はおこなわれていません。

去年、父が、「電気自動車ってどうなんだろう。」と、言い出したので、家族で夏休みにレンタカーとして電気自動車を借りて東京から大阪まで行ってみました。一回の充電で百キロメートル走るのですが、大阪まで六百キロメートルあり、六回の充電は、本当に大仕事という印象でした。まず、充電するための設備が高速のサービスエリア内に1個か2個しかないのと、あつたとしても事前にその充電器を使えるカードを作っておく事も必要だし、すべてのサービスエリアに設置されている訳ではないので、充電ポイントの間違えると、次の充電器のあるサービスエリアまで行けないという恐れがありました。また、いくら急速充電器とはいえ、三十分かかってしまうという現実があり、万が一、一個しか充電器が無くて、それが使われている場合は、とてつもない長い時間待つのです。

また、東京、名古屋、大阪という日本きっての大都市内の急速充電器の普及が本当に限られていて、これでは、せっかくの発明も、本当に無駄になってしまいう印象を持ちました。

今年の夏は、本当に暑くて、地球温暖化という現実をひしひしと感じてしまいう程でしたが、この現実を打開するには、やはりガソリン車並みの充電システムを全国に配備する事と一回の充電で実現できる走行距離をもっと長くする事だと思っています。

私たち家族が何気なくやってみた実験は、本当に過こくなものでしたが、必要なインフラを整える事で、爆発的に地球温暖化を防げるので、心からそうなる事を望みます。